



2022年9月7日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード: 4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IRグループ
<https://www.anges.co.jp/contact/>

改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤に関する米国スタンフォード大学との 共同研究契約の締結について

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤に関する米国スタンフォード大学 医学部（以下、「スタンフォード大学」という）との共同研究契約の締結について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 共同研究の概要等

当社は、スタンフォード大学医学部教授である Dr. Ramasamy Paulmurugan 及び Dr. Tarik Massoud が開発した「Gold-Nanostar Octopod」技術を活用し、新型コロナウイルス感染症を含むウイルス性肺疾患に対し、広範な免疫応答を刺激し、ウイルスの増殖防止、拡散の阻止が期待される改良型 DNA ワクチンの経鼻投与製剤の研究を進めてまいります。今回の共同研究は、スタンフォード大学において、Dr. Ramasamy Paulmurugan 及び Dr. Tarik Massoud を中心に進めてまいります。

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

2. 相手先の概要

名 称	スタンフォード大学 医学部
所在地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州
設 立	1891 年

3. 共同研究の契約期間及び研究費

研究期間	概ね 3 年間
研 究 費	概ね 3 百万米ドル

4. 共同研究に合意した背景

スタンフォード大学では、ウイルス性肺疾患に対し、広範な免疫応答を刺激し、ウイルスの増殖防止、拡散の阻止が期待される、ワクチンの経鼻投与製剤の研究が進んでおり、既に、武漢型の遺伝子配列を持つプラスミド DNA を用いて経鼻投与ワクチンを作製し、マウスを用いた実験で、血清中の抗体 (IgG, IgA, IgM) が上昇することを確認しております。また、武漢型のみならず β 株等の変異株に対しても中和活性を示すこと、組織学的な検討により、リンパ節・脾臓において、スパイクタンパク質に対する細胞性免疫反応、液性免疫反応が確認されております。この成果を基に、今後、最新の変異株を用いた経鼻ワクチンの開発を開始する予定です。

5. 今後の見通し

本共同研究による当社の研究開発費については、現時点での見通しは上記3.における研究費3百万米ドル程度であり、当社の当連結会計年度における連結業績、財政状態への影響については軽微であります。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上